

# 第6回（2019年）The 6th Symposium for Women Researchers



日時 2019年11月3日(日) 11:00~15:30

会場 東京都立戸山高等学校

時程 11:00 開会式

11:10~12:00 100秒ショートプレゼンコンクール

12:10~13:10 キャリア・ラウンドテーブルセッション  
(ランチタイム)

13:20~13:55 ポスターセッション1 (大学生・大学院生)

13:55~14:30 ポスターセッション2 (小・中・高校生)

14:30~15:05 ポスターセッション3 (小・中・高校生)

15:10~15:30 表彰式・閉会式

参加者 講評者 19名、発表者 164名(22校)



## 検証方法

当日参加者を対象にアンケートを実施し、閉会式後、受付で回答用紙を回収した。その結果、中学生6名、高校生90名、大学生・大学院生11名、研究者・教員13名、計120名のデータを得た。アンケートの項目は、①課題発見力(2項目)、②研究計画力(1項目)、③成果発信力(3項目)、④社会貢献力(3項目)、⑤理系女子の活躍の場とネットワークが構築できる環境の創出力(6項目)、⑥感想に関する自由記述(1項目)である。検証には、「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」にそれぞれ1~4点を与える四件法を用いた。

## 検証

①~④の項目はいずれも「そう思う」と「ややそう思う」の割合が7~9割以上となり、項目⑤でも「今後も女性研究者の交流に参加していきたい」、「他校や大学生・研究者の方との交流の意義を感じた」といった質問に対し、8~9割の参加者が「そう思う」または「ややそう思う」と回答した。また、⑥感想に関する自由記述には、「自分の研究の課題の発見にもつながりました。」「色々な研究者の方にアドバイスをいただけて本当によかったです。」「分野の違う研究も見られて興味のあることが広がりました。」「高校生の時からこのように研究をする女性がたくさんいること、様々な社会問題に目を向けていくことは大切だと感じました。」といった前向きな記述が多く見られたことから、今後も理系女子や女性研究者が活躍する場を意識的に設定し続けることが重要である。

